

令和2年度 事業目標と結果 (事業所名：生活介護事業所 ひかり )

(全体総括)

・過去3ヶ月間の延べ利用者数における利用定員超過減算の対象範囲内で、利用登録者数を増やし年間を通じた稼働率維持を目指しているが、第三期の反省を踏まえ送迎便数を増やし、時間差で車両送迎ができるように勤務体制を変えながら対応したこともあり、冬季であっても延べ利用者数は減らなかった。  
 ・在宅利用者様向けのサービス提供時間延長も継続して実施することができたが、新年度体制変更による職員数減のなか同じように対応することが難しいと判断し、新年度はじめは一旦通常稼働のみで案内する。  
 ・在宅利用者様の転居による退所の可能性もあることから、引き続き新規の利用者様獲得のうえ上限に近い範囲で稼働する。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
(課題) 高齢になると 気力や体力、 疾病等も伴い 通所を休みが ちになる。	対象高齢障がい者 通所日数/年	460日	今期195日 累計773日	今年度目標水準に達したが、高齢化や疾病に伴うお休みの状況については、今後も継続し対応を行う。
(重点) 他事業所に通 う高齢障がい 者等も受け入 れる。	稼働率 (3ヶ月平均)	125%	111.2%	グループホームより正規利用者ではないが食事に来られている方、仕事が休みの日に来て共に過ごす方もいる。 色々な方が利用される空間として受け入れを継続していく。

【運営報告】

事業所名：生活介護事業所 ひかり

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		880	920	880	920	920	880	920	880	920	920	800	920	897
延利用人数	R1	827	843	798	844	759	818	887	858	885	818	813	882	836
	R2	901	944	937	968	872	949	1,016	969	983	962	894	1,034	952
稼働率	R1	94.0%	91.6%	90.7%	91.7%	82.5%	93.0%	96.4%	97.5%	96.2%	88.9%	96.8%	95.9%	92.9%
	R2	102.4%	102.6%	106.5%	105.2%	94.8%	107.8%	110.4%	110.1%	106.8%	104.6%	111.8%	112.4%	106.3%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	8,247	8,296	7,995	8,499	7,677	8,309	9,097	8,818	9,023	8,324	8,205	8,952	8,454
	R2	9,306	9,666	9,572	9,883	8,935	9,822	10,498	11,048	10,180	9,976	9,241	10,130	9,855
当期資金収支差額 (単位：千円)		3,612	3,841	1,030	3,581	2,983	4,625	4,171	5,420	317	3,688	3,751	-5,196	2,652
職員数	正規	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9.3
	有期	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
	パート	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.8

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
給食会議	R3.1.12	長田管理者、高桑主任、本田看護師、土佐管理者、柳浦主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次月の献立について</li> <li>・検食簿の内容（意見）について検討</li> <li>・利用者個別案件について</li> </ul>
プラン会議	R3.1.13	長田管理者、高桑主任、真鍋主任、本田看護師、河村、佐藤、二川、山本、梶川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と支援内容について（サービス担当者会議）</li> <li>・次月モニタリング利用者の評価について</li> </ul>
職員全体会議	R3.1.13	長田管理者、高桑主任、真鍋主任、本田看護師、河村、佐藤、二川、山本、梶川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項について</li> <li>・協議案件について</li> <li>・アメーバ経営部門ミーティング</li> </ul>
花月リーダー会議	R3.1.22	旭管理者、木村主任、長田管理者、高桑主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所としての連絡事項について</li> <li>・グループホームとしての連絡事項について</li> </ul>
給食会議	R3.2.11	長田管理者、高桑主任、本田看護師、柳浦主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次月の献立について</li> <li>・検食簿の内容（意見）について検討</li> <li>・利用者個別案件について</li> </ul>
プラン会議	R3.2.17	長田管理者、高桑主任、本田看護師、河村、佐藤、倉田、山本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と支援内容について（サービス担当者会議）</li> <li>・次月モニタリング利用者の評価について</li> </ul>
職員全体会議	R3.2.17	長田管理者、高桑主任、本田看護師、河村、佐藤、倉田、山本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項について</li> <li>・協議案件について</li> <li>・アメーバ経営部門ミーティング</li> </ul>
花月リーダー会議	R3.2.19	旭管理者、木村主任、岡本主任、吉田主任、長田管理者、高桑主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所としての連絡事項について</li> <li>・グループホームとしての連絡事項について</li> </ul>
給食会議	R3.3.11	高桑主任、本田看護師、土佐管理者、柳浦主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次月の献立について</li> <li>・検食簿の内容（意見）について検討</li> <li>・利用者個別案件について</li> </ul>
職員全体会議	R3.3.17	長田管理者、高桑主任、本田看護師、河村、矢部、二川、佐藤、山本、梶川、泉谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項について</li> <li>・協議案件について</li> <li>・アメーバ経営部門ミーティング</li> </ul>
プラン会議	R3.3.17	長田管理者、高桑主任、本田看護師、河村、矢部、二川、佐藤、山本、梶川、泉谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と支援内容について（サービス担当者会議）</li> <li>・次月モニタリング利用者の評価について</li> </ul>

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
花月障がいグループ 感染対策委員会	R3.1.12	旭管理者、本田看護 師、吉田主任、 安部、水上、倉田	・前月目標の評価 ・次月目標の設定 ・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について
事故予防委員会	R3.1.13	長田管理者、高桑 主任、真鍋主任、 本田看護師、河 村、佐藤、二川、 山本、梶川	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・事故報告、改善策について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員 会	R3.1.13	長田管理者、高桑 主任、真鍋主任、 本田看護師、河 村、佐藤、二川、 山本、梶川	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について
苦情解決委員会	R3.1.13	長田管理者、高桑 主任、真鍋主任、 本田看護師、河 村、佐藤、二川、 山本、梶川	・気づかない相談、苦情は無かったかどうか ・相談、苦情に対する支援について
花月障がいグループ 感染対策委員会	R3.2.9	旭管理者、本田看護 師、高山主任、 吉田主任、安部、 水上、倉田	・前月目標の評価 ・次月目標の設定 ・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について
事故予防委員会	R3.2.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、佐藤、 倉田、山本	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・事故報告、改善策について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員 会	R3.2.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、佐藤、 倉田、山本	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について
苦情解決委員会	R3.2.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、佐藤、 倉田、山本	・気づかない相談、苦情は無かったかどうか ・相談、苦情に対する支援について
花月障がいグループ 感染対策委員会	R3.3.9	旭管理者、本田看護 師、高山主任、 安部、小林、山 下、倉田	・前月目標の評価 ・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員 会	R3.3.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、矢部、 二川、佐藤、山 本、梶川、泉谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について
苦情解決委員会	R3.3.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、矢部、 二川、佐藤、山 本、梶川、泉谷	・気づかない相談、苦情は無かったかどうか ・相談、苦情に対する支援について
事故予防委員会	R3.3.17	長田管理者、高桑 主任、本田看護 師、河村、矢部、 二川、佐藤、山 本、梶川、泉谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・事故報告、改善策について



(全体総括)

・年度末においては空床2となってしまった。(※令和3年4月1日に1名入所となっており、空床1となっている) コロナの影響にて、医療機関との調整が難しくなってしまった事が1番の原因である。次年度に向け、この空床については、医療機関も含めた関係機関との調整及び、みらい棟スタッフとの協議の中で進める。

・その他、外部研修の参加が難しかったが、1年を越し内部研修の充実が図られ、スタッフ間の共有時間を増やす事が出来たものと思われる。また、アメーバについても、部門会議を通じ全スタッフの理解度が進められたと感じる。特に世話人の節約に対する意識が高く、他スタッフが見習うべき事が増えた。このようにして、全職種の共有及び意識統一が少しずつ高まって来ている。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
障がいに対する知識が薄く、理論的な支援方法が確立されていない為、受け入れに対し悲観的である。	①支援員の障がい特性の理解 ②支援力の向上 ③権利擁護及び障がい者の尊厳と意思決定の理解	空床ゼロ	3月27日1名入所となり、58名となる。 次年度4月には、らいむ棟1名入所予定となっており、59名となる。 よって。みらい棟1名の空床のみとなる予定	みらい棟1名の空床については、各関係機関に情報提供を行い、体験利用の調整を図る
地域との共存共栄が薄い。	地域ニーズの理解と事業所情報の発信	共同作業において、地域住民の参加者数10名以上	地域役員会が新体制になる事を受け、新メンバーへの挨拶を行う。まだ計画の段階であるが、コロナの影響が緩和されれば集会等にて説明会を実施できるよう話し合った。	新型コロナウイルスの影響にて、どのような情勢になるか不透明であるが、いつでも動けるよう計画を立てる
近隣に高齢障がい者を対応できるグループホームがない。	支援と介護の両立	入院者0名(服薬調整等は除く)	・入院者0名 ・自立支援介護を取り入れるべく、内部研修(排泄の重要性)を実施している。	次年度の取り組みとして、介護と支援の両立を図ることを目的とした研修計画を立てる。 介護に関しては、自立支援介護を基盤とし、支援については、障がい特性に合わせた対応方法を行う

【運営報告】

事業所名：ホームピンネ（みらい）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	608
延利用人数	R1	508	518	509	527	514	510	526	476	493	491	464	480	501
	R2	540	558	562	588	578	568	588	540	553	546	501	561	557
稼働率	R1	84.7%	83.5%	84.8%	85.0%	82.9%	85.0%	84.8%	79.3%	79.5%	79.2%	82.9%	77.4%	82.4%
	R2	90.0%	90.0%	93.7%	94.8%	93.2%	94.7%	94.8%	90.0%	89.2%	88.1%	89.5%	90.5%	91.5%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	5,170	5,133	5,036	5,295	5,143	5,112	5,260	4,749	4,854	4,850	4,634	4,867	5,009
	R2	5,222	5,616	5,315	5,393	5,293	5,068	5,273	8,301	7,743	5,021	4,814	2,197	5,438
当期資金収支差額 (単位：千円)		851	993	-978	512	1,048	851	1,043	3,748	-936	642	261	-5,027	251
職員数	正規	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5.7
	有期											1	1	1.0
	パート	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6.7

【運営報告】

事業所名： ホームピンネ（ぼえむ）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	608
延利用人数	R1	587	588	592	614	574	593	612	594	597	568	574	612	592
	R2	594	603	599	617	574	586	612	597	614	601	556	616	597
稼働率	R1	97.8%	94.8%	98.7%	99.0%	92.6%	98.8%	98.7%	99.0%	96.3%	91.6%	102.5%	98.7%	97.4%
	R2	99.0%	97.3%	99.8%	99.5%	92.6%	97.7%	98.7%	99.5%	99.0%	96.9%	99.3%	99.4%	98.2%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	5,014	5,375	5,031	5,225	4,926	5,036	5,219	5,210	5,187	5,018	4,996	5,399	5,136
	R2	5,265	5,339	5,287	5,421	5,145	5,202	5,404	5,379	5,963	5,324	5,152	5,420	5,358
当期資金収支差額 (単位：千円)		2,140	1,956	1,288	1,894	1,580	1,814	2,054	1,669	587	1,648	1,825	-6,312	1,012
職員数	正規	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	有期	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1.7
	パート	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5.9



【運営報告】

事業所名：ホームピンネ（らいむ）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	608
延利用人数	R1	499	503	497	515	522	517	573	551	560	577	529	535	532
	R2	530	533	557	573	552	554	571	545	569	561	512	571	552
稼働率	R1	83.2%	81.1%	82.8%	83.1%	84.2%	86.2%	92.4%	91.8%	90.3%	93.1%	94.5%	86.3%	87.4%
	R2	88.3%	86.0%	92.8%	92.4%	89.0%	92.3%	92.1%	90.8%	91.8%	90.5%	91.4%	92.1%	90.8%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	3,789	3,873	3,791	3,949	4,016	4,133	4,543	4,372	4,428	4,350	4,247	4,275	4,147
	R2	4,444	4,705	4,734	4,883	4,752	4,888	4,965	4,825	5,216	4,771	4,628	4,914	4,810
当期資金収支差額 (単位：千円)		1,368	1,010	627	1,113	1,240	1,042	1,449	1,023	-634	1,028	1,473	-6,637	342
職員数	正規	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2	3.6
	有期	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1.6
	パート	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6.9

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：共同生活援助事業所 ホームピンネ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
花月ピンネリーダー会議	R3.1.4	管理者・木村主任・岡本主任・吉田主任	・アメーバ経営について ・今月の予定の確認 ・各棟から報告 ・行事活動について ・ひかりとの協力体制についての確認
花月ピンネリーダー会議	R3.2.5	管理者・木村主任・岡本主任・吉田主任	・アメーバ経営について ・今月の予定の確認 ・各棟から報告 ・行事活動について ・ひかりとの協力体制についての確認
花月ピンネリーダー会議	R3.3.5	管理者・木村主任・岡本主任・吉田主任	・アメーバ経営について ・今月の予定の確認 ・各棟から報告 ・行事活動について ・ひかりとの協力体制についての確認
花月リーダー会議	R3.1.22	長田管理者・旭管理者・真鍋主任・高桑主任・木村主任・岡本主任・吉田主任	・協力体制についての確認 ・予定の確認
花月リーダー会議	R3.2.19	長田管理者・旭管理者・真鍋主任・高桑主任・木村主任・岡本主任・吉田主任	・協力体制についての確認 ・予定の確認
花月リーダー会議	R3.3.26	長田管理者・旭管理者・真鍋主任・高桑主任・木村主任・岡本主任・吉田主任	・協力体制についての確認 ・予定の確認
みらい会議	R3.1.15 R3.2.26 R3.3.18	管理者・木村主任・本田看護師、他（棟支援員・棟世話人）	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
ぼえむ会議	R3.1.21 R3.2.24 R3.3.24	管理者・岡本主任・本田看護師、他（棟支援員・棟世話人）	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
らいむ会議	R3.1.21 R3.2.23 R3.3.18	管理者・吉田主任・本田看護師、他（棟支援員・棟世話人）	・予定の確認 ・利用者対応について ・委員会等の引継ぎ ・事業計画、本部の動向等についての説明及び確認
ピンネアメーバ会議	R3.1.22 R3.2.23.26 R3.3.18.24	全職員	・アメーバ理論の周知 ・費用全体の確認及び相互理解の共有

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
苦情委員会	R3.1.13 R3.2.10 R3.3.10	管理者・本田看護師・各棟担当者	・当月苦情案件の報告 ・ヒヤリハット報告 ・事故報告
虐待防止委員会	R3.1.13 R3.2.10 R3.3.10	管理者・本田看護師・各棟担当者	・虐待案件の確認 ・虐待防止に関わる報告 ・内部研修（虐待防止・権利擁護）の内容確認
事故防止委員会	R3.1.13 R3.2.10 R3.3.10	管理者・本田看護師・各棟担当者	・事故報告 ・ヒヤリハット報告 ・本部主体委員会報告及び確認
感染症委員会	R3.1.12 R3.2.9 R3.3.9	ひかり・ここ・ピ ンネ管理者・本田 看護師・各事業所 担当者	・感染防止に関わる各事業所の取組み内容の報告 ・所轄管内の感染症に関わる動向の確認 ・感染状況（管内及び他事業所）の確認 ※4/8に関しては、今年度の活動内容を決める打ち合わせとして実施

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名：共同生活援助事業所 ホームピンネ

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
節分会食 ※各棟で実施	R3.2.2	57名	みらい棟:18名 ぽえむ棟:20名 らいむ棟:19名
みらい棟感謝祭	R3.3.25	31名	利用者:18名 職員:13名
ぽえむ棟感謝祭	R3.3.27	26名	利用者:20名 職員:6名
らいむ棟感謝祭	R3.3.30	24名	利用者:19名 職員:5名

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

(全体総括)

今年度、各課題項目についてアメンバー経営に基づき、すまいるチーム、さつきチームと分けた事により少しずつは出来てはきた。しかし、直結する利用者サービス＝支援力・業務力は育成が必要な為、事業所だけの問題ではなく、法人全体としての課題として感じる部分が大きかった。その中で、事業所として出来る部分を”チーム”として補完し合い実施にあたった。次年度に向けても、継続して行われなければならない項目であり、『標準として出来る支援員像』を達成するには、継続する項目としてはそのまま行い、R3年度の事業計画に向け実施していきたい。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
利用者の特性や必要な支援内容を把握できていない。	・担当利用者のモニタリング調書を作成する。	40H全職員(5人) 作成率100%	40H全職員 作成率100%	今年度、利用者の特性について把握は出来ていたが、連動する直接的な支援は出来ていなかった部分もあった。経験年数相当の支援力や業務力も次年度も継続する項目とする。
勤務年数と支援力が比例していきなく、業務力及び支援力が弱い。	・色々な事を体験しながら、業務力と支援力を身につける。	A評価100%	A評価66%	
・業務管理とスケジュール管理が出来ていない ・情報共有が出来ていない事が多い。	・デスクネッツ、行動予定表、月間予定表(PC)を活用する。	40H全職員(5人) ①～⑤実施100%	40H全職員 ①～⑤実施率76%	すまいるチーム・さつきチーム会議内で業務管理など確認し合う事で出来るようにはなっては来た。しかし、確実に業務管理など実施していく事はまだ出来ていなかった為、次年度も引き続き、継続項目とする。
・満床になっていない ・加齢やその他理由に、花月GHへの異動が増えており満床にならない。	・養護学校、病院、相談事業所へ新規利用者増になるよう働きかける。	25人/25人	24人/25人	第四期内で満床にできるよう各関係機関に働きかけ、3月に利用者2名が登録した。残り定員枠1名については、4月中旬には満床となる予定

【運営報告】

事業所名： 共同生活介護事業所あおば（すまいる）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	608
延利用人数	R1	532	529	531	550	531	528	541	543	558	562	520	556	540
	R2	551	531	529	549	546	529	539	536	543	522	484	565	535
稼働率	R1	88.7%	85.3%	88.5%	88.7%	85.6%	88.0%	87.3%	90.5%	90.0%	90.6%	89.7%	89.7%	88.6%
	R2	91.8%	85.6%	88.2%	88.5%	88.1%	88.2%	86.9%	89.3%	87.6%	84.2%	86.4%	91.1%	88.0%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	3,933	4,009	3,865	4,049	3,899	3,910	4,131	4,175	4,193	4,283	4,073	4,210	4,061
	R2	4,218	4,129	4,110	4,307	4,243	4,233	4,473	7,798	4,531	4,244	4,022	1,672	4,332
当期資金収支差額 (単位：千円)		448	-275	-1,016	-452	264	347	487	3,722	-1,980	-296	90	-6,617	-440
職員数	正規	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	有期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2
	パート	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	7

【運営報告】

事業所名： 共同生活介護事業所あおば（さつき）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	152
延利用人数	R1	150	155	150	155	153	150	154	148	155	155	145	155	152
	R2	145	153	148	155	153	149	154	149	154	152	139	153	150
稼働率	R1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.7%	100.0%	99.4%	98.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%
	R2	96.7%	98.7%	98.7%	100.0%	98.7%	99.3%	99.4%	99.3%	99.4%	98.1%	95.9%	98.7%	98.6%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	969	977	969	992	985	969	1,004	975	1,008	1,008	961	1,008	986
	R2	998	924	903	925	917	900	1,056	975	1,019	978	916	905	951
当期資金収支差額 (単位：千円)		381	356	386	246	380	390	537	397	343	386	354	-1,264	241
職員数	正規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パート	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：共同生活援助事業所 あおば

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
アメンバー部門会議	R3.1.18	後藤・原田・戸田 得地・高桑・木村 入井	・12月における各棟事業の進捗・反省・改善策を協議
1月給食会議	R3.1.22	後藤・原田・戸田 得地・高桑・木村 入井	・前月の給食提供内容を踏まえ反省・改善
ケース会議	R2.1.22	後藤・森川・古島	・個別支援対応について
障害グループ管理者会議	R2.1.25	後藤	・10月における事業所報告とその他の協議について
1月全体会議	R2.1.26	後藤・原田・戸田 小林・得地・高桑 木村・入井	・次月予定、その他の報告事項と協議について
事前モニタリング会議	R3.2.2	後藤・原田・戸田 森川・高桑	・半年間における経過と状況確認
ケース会議	R2.2.3	後藤・原田・戸田 森川・高桑	・個別支援対応について
ケース会議	R3.2.5	後藤・原田・戸田 森川・高桑	・個別支援対応について
ケース会議	R3.2.22	後藤・原田	・通所について
2月全体会議	R3.2.25	後藤・原田・戸田 小林・得地・高桑 木村・入井	・次月予定、その他の報告事項と協議について
ケース会議	R3.3.4	後藤・原田・戸田 小林・得地・高桑 木村・入井	・通所について
事前モニタリング会議	R3.3.9	後藤・原田・戸田 森川・高桑	・半年間における経過と状況確認
2月給食会議	R3.3.9	後藤・原田・戸田 得地・高桑・木村 入井	・前月の給食提供内容を踏まえ反省・改善
ケース会議	R3.3.10	後藤・原田・戸田 得地・高桑・木村 入井	・個別支援について
世話人会議	R3.3.12	後藤・森川・戸田 得地・高桑・木村 入井・大井・岩井 我妻・中本	・GH各棟におかる環境及び感染の注意事項について
入居判定会議	R3.3.22	後藤・森川・戸田 木村・戸田・高桑 得地	・新規利用者入居について



委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
GHすまいるチーム 事前感染・環境対策委員会	R3.1.5	森川・高桑・入井	・GHすまいるにおける12月の環境・感染対策結果について
GHさつきチーム 事前感染・環境対策委員会	R3.1.20	原田・戸田・木村 我妻・得地	・GHさつきにおける12月の環境・感染対策結果について
苦情解決、虐待防止委員会	R3.1.26	後藤・原田・戸田 小林・得地・高桑 木村・入井	・苦情案件についての協議
あおば感染対策委員会	R3.2.12	後藤・原田・戸田 高桑・木村・入井 得地	・各GHすまいる・さつきの感染・環境進捗報告 ・コロナウィルスレベル表について
GHすまいるチーム 事前感染・環境対策委員会	R3.2.19	森川・高桑・入井	・GHすまいるにおける1月の環境・感染対策結果について
GHさつきチーム 事前感染・環境対策委員会	R3.3.11	原田・戸田・木村 我妻・得地	・GHさつきにおける2月の環境・感染対策結果について

令和2年度（1月～3月） 行事

事業所名：共同生活援助事業所 あおば

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
お正月余暇企画	R3.1.1 ～ R3.1.3	19名	職員：4名 利用者：19名
おやつ作り余暇	R3.3.14	7名	職員：2名 利用者：5名

行事予定（月～月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

(全体総括)

登録利用者21名 平均稼働率92.4%  
 1月からの事業では新型コロナウイルスの影響により就労支援事業は厳しい状況となっている。今年度始めた法人内での弁当販売が定着しており次年度の就労支援事業の要となることが予想される。また今季より、いかの塩辛販売が再開され町内を中心に売れ行きが好調である。障がいサービス事業では1月の登録者が18名まで落ちサービス費の収入が落ちたが、3月現在では21名の登録となり回復傾向である。4月よりもう一名の利用も確定しておりサービス費収入増が期待される。次年度においては利用者数を維持しサービス費、就労支援事業費をMP値以上得られるよう事業所の皆で力を合わせ事業を進めていきたいと考えている。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
・継続支援に甘え利用者のステップアップを怠っている。	作業評価を行い利用者の就労意識・意欲を高める。	利用者出席率  ※さらに上を目指す意識が芽生えるように	平均92.4%	期末の利用者個々の評価をもとに適材適所の利用者配置を行いその人に合った支援を実施し就労意識と意欲を高める
・平均工賃額が2年間変わっていない。	仕事＝対価モチベーションアップ	平均工賃 25,000円/月  ※この数値をクリアできたら基本単価も上がる	平均工賃 18,055円/月 ボーナスの支払いはできなかった。	現在の状況は続くが今年度始めた弁当販売事業、冬より再開した塩辛販売事業の成績を上げる
・利用者支援への意識がまだまだ低い。  ・ものづくりへの意識は高い。	障がい福祉就労支援研修への参加、内部研修をし意識を高める。  新しいものづくりに挑戦する。	年間総括で利用者の成長をスタッフ全員が共有できる  加工・水産 →ヒット商品をつくり定番化させる 給食 →毎月新メニューを1つ以上考案	研修は行うことができていない。  加工事業での弁当販売が定着している。恵方巻などのイベント販売も行うことができた。	利用者の年間総括を行い利用者の強みが生かせる様作業の配置をみんなで考える。  現在の状況が続く中で外部イベントへの参加ができない分法人内部での販売に力を入れる。
・毎日、毎月、毎年の繰り返しになりつつある。	イベント販売、ギフト販売をツールとし全員が関わり事業所の結束を深め、創造力を高め合う。	役割を必ず最低1つ/1人  ※いろいろな役割を経験しよう！！	弁当製造販売、各委員会をツールとし各役割を実行している	FFAを駆使し事業所の皆が結束する
・事業所単位の意識が強く明和会としての意識が低い	法人内で行っている事業に興味を持つ。  アメーバ経営の浸透	管理者と一緒に経営計画会議に参加 1回/1人 ※事業所を知り人を知る  部門会議の実施 1回/月実施  ※みんなの頑張りを目で見て実感し未来を創る	未実施	随時参加できるように予定や業務の精査を図る  現在使用している手法をもとに未来の法人と事業所、自分を思い描き日々の業務を遂行する

## 【運営報告】

事業所名： フレーバーカントリー

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		440	460	440	460	460	440	460	440	460	460	400	460	448
延利用人数	R1	443	450	397	443	397	403	422	392	419	412	384	435	416
	R2	435	435	443	456	420	402	427	420	413	377	349	432	417
稼働率	R1	100.7%	97.8%	90.2%	96.3%	86.3%	91.6%	91.7%	89.1%	91.1%	89.6%	96.0%	94.6%	92.9%
	R2	98.9%	94.6%	100.7%	99.1%	91.3%	91.4%	92.8%	95.5%	89.8%	82.0%	87.3%	93.9%	93.1%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	5,219	5,354	4,883	5,627	5,212	4,924	5,262	4,931	5,332	4,988	4,452	4,897	5,090
	R2	4,486	4,453	4,754	4,902	4,552	4,284	4,649	5,024	4,823	4,108	4,088	4,431	4,546
当期資金収支差額 (単位：千円)		-859	-66	-1,013	390	497	162	-33	-409	-1,704	-287	197	-4,234	-613
職員数	正規	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
	有期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	パート	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3.4

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：フレーバーカントリー

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
部門会議	R3.1.25	全スタッフ	採算表、アクションプラン
部門会議	R3.2.26	全スタッフ	採算表、アクションプラン
部門会議	R3.2.26	全スタッフ	採算表、アクションプラン

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題

(全体総括)

・全体を通しては、個別課題の部分では冬休みの期間も有効に活用し平日では実施が難しかった内容も継続して実施出来た。  
 SSTでは動画を用いた3期目から、より内容を具体化し、学校や家でありそうなことを、実際に小グループで演じてみてどう感じたか、どうするべきだったかなどを子どもたちで話し合わせる場面を作った。  
 ・学校やお家で実際に行動出来た、出来るようになったなどと声が増え、実感してもらえる機会が増えた。  
 ・来期は3クラス体制は継続しながら、お子さんの段階に合わせたクラス分けを行っていきながら活動内容も各クラスで差別化を図る。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
通うお子さんや働く職員にとって立地が悪く、加え送迎での子どもへの負担も大きい。	ここに集う人たちが誰でも通いやすい事業所になる。	中央地区への事業所移転	話し合いこそ何度かはあるが移転までには至っていない	事業課とも相談し、数年後の事業所のあり方もふまえ検討する
利用人数が増えることにより今より療育の質が下がったり、子どもたちに刺激が増えることが負担になったり職員が今より日が行き届かなくなることが不安である。	ここを利用したい人がどの方もうちのサービスを受けることが出来、今より目的に合った内容の療育を受けることが可能になる。	待機者0人	待機者8名	各クラスごとに空き状況などを確認しながら、低学年の児童を中心に1人でも多く利用できるようにする
SSTを実施しているが専門性がまだ低く、周りにSSTを実践しているところもなく、現在自分たちが行っている内容で良いのか悩んでいる。	各児童に適したSSTが実施出来たりお友達との関わりが良好になったり必要な振る舞いを習得することが出来る。	SST満足度80%	SST満足度75%	アンケート調査を実施しながら抽出された課題にリアルタイムで各クラスが取り組みを改善していく仕組み作りを目指す
保護者から、字が書けるようになってほしい、文字が読めるようになってほしい、1人で靴が履けるようになってほしいなどの具体的な療育希望が多い。	将来生活していくのに必要なスキルを低学年のうちに取得できる。	個別目標達成率80%	個別課題達成率85%	アンケート調査を実施しながら抽出された課題にリアルタイムで各クラスが取り組みを改善していく仕組み作りを目指す

【運営報告】

事業所名： きつずでいここ

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		210	210	220	220	200	200	220	190	200	190	180	200	203
延利用人数	R1	215	235	225	231	210	220	222	219	226	201	142	113	205
	R2	210	134	250	259	219	224	249	211	215	194	185	208	213
稼働率	R1	102.4%	111.9%	102.3%	105.0%	105.0%	110.0%	100.9%	115.3%	113.0%	105.8%	78.9%	56.5%	100.6%
	R2	100.0%	63.8%	113.6%	117.7%	109.5%	112.0%	113.2%	111.1%	107.5%	102.1%	102.8%	104.0%	104.8%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	2,258	2,436	2,342	2,442	2,272	2,276	2,434	2,279	2,385	2,289	1,500	1,217	2,177
	R2	2,128	1,459	2,636	2,727	2,406	2,482	2,624	2,785	2,283	2,122	1,984	1,928	2,297
当期資金収支差額 (単位：千円)		429	-275	55	737	673	854	421	1,149	-747	161	263	-706	251
職員数	正規	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
	有期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	パート	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	4.4

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：きつずでいここ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議	R3.1.14	古島・高山・澤田 畑・荒川・加藤	・各クラスの利用状況の確認について ・各児童、個別課題状況の確認
職員会議	R3.1.21	古島・高山・澤田 畑・荒川・加藤 山本	・学校からの情報提供内容の共有 ・コンサル該当児童の進捗確認と今後の対応について
職員会議	R3.2.4	古島・高山・澤田 荒川・畑・加藤	・利用児童の利用状況の確認 ・利用前、利用後の消毒についての確認
職員会議	R3.2.25	古島・高山・澤田 荒川・加藤	・高学年児童の状況の確認 ・高学年クラスの活動プログラムの確認について
職員会議	R3.3.11	古島・高山・澤田 畑・加藤・山本	・長期休暇中の日課について ・個別課題の評価について
職員会議	R3.3.18	古島・高山・澤田 畑・加藤	・低学年児童の状況の確認について ・低学年クラスの活動プログラムの確認
ケース会議	R3.1.21	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について
ケース会議	R3.2.25	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について
ケース会議	R3.3.18	古島・高山・澤田	・該当児童の支援の評価及び今後の対応について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染予防委員会	R3.1.12	旭、長田、本田 安部、倉田、古島 水上	・4半期ごとのピンポイント評価の確認 ・コロナウイルス関連 ・感染症発生状況の確認
虐待防止、苦情委員会	R3.1.21	古島、澤田、高山	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認
感染予防委員会	R3.2.9	旭、長田、本田 安部、倉田、高山	・委員会目標の確認 ・ピンポイント評価・目標 ・感染症発生状況
虐待防止、苦情委員会	R3.2.25	古島・高山・澤田	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認
感染予防委員会	R3.3.9	旭・長田・高山・ 本田・吉田・倉田	・委員会目標の確認 ・ピンポイント評価・目標 ・次年度計画について ・次年度の感染予防委員会について
虐待防止、苦情委員会	R3.3.18	古島・高山・澤田	・事案の有無の確認 ・保護者からの要望等の確認



(全体総括)

・相談支援事業においては12月末から3月末にかけて契約件数2件増、居宅介護支援事業所においては実績数2件増となっている。居宅介護支援事業所においては引き続き、定期訪問以外の訪問や調整が必要なケースが散見されており、業務量が増加している。  
 ・プランニングに繋がらない相談(なんでも相談)については目標水準をクリアしている。今後も継続していく。  
 ・自立支援協議会全体会は新型コロナウイルス感染症予防の為、オンラインで開催した。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
知的障がい者、一般高齢者以外の対応に慣れておらず、他機関からの信頼が薄い。	精神障がい、精神疾患を有する方についての相談依頼が増える	年間相談依頼件数(精神障がい、疾患) 7件	○精神科に関連するケースの依頼はなかった  ○精神保健に関する内部研修を実施する予定であったが、他の業務が優先され実施できなかった	精神保健分野に限らず、内部研修を計画、実施していく
自立支援協議会の目的、活動内容がわかりにくい。	出席率が向上する	出席率 100%	2月末に障害者自立支援協議会 全体会を開催している。(オンライン)出席率は約80%となっている。	出席率が上がるよう、協議会活動内容や実施方法を検討する
プランニングに繋がる以外の『何でも相談』の依頼が少ない。	介護認定前の相談、福祉サービス利用以外の相談依頼が増える	介護認定前の相談 5件/年  福祉サービス利用以外の相談 5件/年	今期は『何でも相談』からケアプランに繋がったケースはなかった	『何でも相談』の対応を継続する
ひとり仕事で責任が重く精神的負担が大きいので解決する必要がある。	職員の幸福度が向上する	アンケートの結果 幸福指数平均4以上(幸せの4つの因子について評価)	12月に面談を実施しており、今期は実施していない。3回/年面談を実施しているが、職員の幸福度については数値として表すことは困難であった	人事考課の面談を通し、職員のモチベーション、働きやすさを観察していく

【運営報告】

事業所名：居宅介護支援事業所 虹

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
延利用人数	R1	74	76	71	64	74	72	72	68	69	72	69	64	70
	R2	67	70	71	69	65	68	64	66	61	58	62	65	66
稼働率	R1	71.5%	72.4%	67.6%	61.0%	70.5%	68.6%	68.6%	64.8%	65.7%	68.6%	65.7%	61.0%	67.2%
	R2	95.7%	100.0%	101.4%	98.6%	92.9%	97.1%	91.4%	94.3%	87.1%	82.9%	88.6%	92.9%	93.6%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	949	974	902	818	966	909	954	872	878	906	876	809	901
	R2	839	897	901	878	824	854	1,184	840	791	733	787	688	851
当期資金収支差額 (単位：千円)		77	115	-681	-121	95	128	210	57	-685	-135	53	-2,459	-279
職員数	正規	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
	有期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

【運営報告】

事業所名： 相談支援事業所 虹

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
計画更新、モニタリング対応件数	R1	29	24	65	44	27	61	30	18	64	38	33	70	41.9
	R2	51	46	57	43	46	48	38	31	56	47	36	68	47.3
実行できた割合	R1	27.6%	22.9%	61.9%	41.9%	25.7%	58.1%	28.6%	17.1%	61.0%	36.2%	31.4%	66.7%	39.9%
	R2	48.6%	43.8%	54.3%	41.0%	43.8%	45.7%	36.2%	29.5%	53.0%	44.7%	34.2%	64.8%	45.0%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	1,797	1,240	1,561	1,419	1,392	1,488	1,519	1,054	1,798	1,244	1,185	1,622	1,443
	R2	1,755	1,453	1,691	1,498	1,515	1,549	1,759	1,724	1,731	1,559	1,136	1,235	1,550
当期資金収支差額 (単位：千円)		506	-24	-471	136	408	399	353	558	-727	203	39	2,152	294
職員数	正規	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.1
	有期													-
	パート													-

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：居宅介護支援事業所 虹

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
虹全体会議	R3.1.20	竹原常務理事、大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	事業所の課題とアクションの検討、その他
虹全体会議	R3.2.16	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木)	事業所の課題とアクションの検討、その他
虹全体会議	R3.3.17	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	事業所の課題とアクションの検討、その他

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症対策委員会	R3.2.3	笹木	感染拡大予防対策を目的とした防護具等衛生用品確認結果、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ感染予防についての備え、コロナ禍の外部研修参加について、各事業所衛生用品再確認結果、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ感染予防の現況など
災害対策委員会	R3.2.24	鈴木	災害備蓄品一覧表の再確認結果について、各事業所BCP更新状況について、今年度の委員会活動反省など

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：相談支援事業所 虹

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
相談支援会議	R3.1.12	大櫛、小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.1.20	竹原常務理事、大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
虹全体会議	R3.1.20	竹原常務理事、大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	事業所の課題とアクションの検討、その他
相談支援会議	R3.1.26	大櫛、小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、苦情解決・虐待について、その他
相談支援会議	R3.2.2	小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.2.9	小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.2.16	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
虹全体会議	R3.2.16	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	事業所の課題とアクションの検討、その他
相談支援会議	R3.3.3	古島、小林	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.3.9	大櫛、小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.3.17	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
虹全体会議	R3.3.17	大櫛、小林、古島、鈴木、笹木	事業所の課題とアクションの検討、その他
相談支援会議	R3.3.23	大櫛、小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、その他
相談支援会議	R3.3.30	竹原常務理事、大櫛、小林、古島	新規ケースの報告と進捗、プラン更新・モニタリングの進捗状況、各ケースの動向、サービス提供事業所に関する情報、基幹相談支援センター・自立支援協議会の運営について、研修報告、苦情解決・虐待について、その他

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故再発防止委員会	R3.1.6	小林	各事業所のインシデント・事故発生状況報告など
第三者委員会	R3.1.28	大櫛	前回の振り返り（対応報告）、苦情内容の共有など
事故再発防止委員会	R3.3.3	小林	各事業所のインシデント・事故発生状況報告、事故報告書の所轄庁への報告書提出状況確認、事故再発防止に関する委員協議、他(協議)など

## 研修

研修名	実施日	参加者	内容
発達障害のある人の非行・触法行為に対する『初動対応』と触法アセスメント	R3.1.10	古島	医療分野から見た発達障害のある人の危機支援と全国TSネット基盤等
	R3.1.24	古島	福祉に役立つ法律概念と司法から見た初動対応
	R3.2.7	古島	触法アセスメントと発達障害のある人の触法の初動対応
強度行動障がいと視覚的支援	R3.2.12	小林	強度行動障がいと視覚的支援
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	R3.2.19 R3.2.20	古島	強度行動障害の理解と支援等